

つるぎ町町並み修景事業

【応募者】 氏名：つるぎ町役場 企画課 兼本純治 勤務先名：つるぎ町役場 企画課 勤務先住所：徳島県美馬郡つるぎ町貞光字東浦1番地3
 連絡先：TEL(0883)62-3114 FAX(0883)55-1051 Email:kikaku@town.tokushima-tsurugi.lg.jp

【応募理由】

本町貞光の中央商店街には、現在28棟のうだつを有する伝統的建築物が存在している。平成10年度に町並み保存条例を制定し、これまで18棟が修景工事を完了している。この個性ある美しい景観を後世に継承し、その誇りと活力ある町づくりを目指している。

【作品または活動の概要】

- 平成2年度：「ご覧なして貞光・写真展」
- 平成3年度：観光資源保護財団調査
- 平成3～7年度：貞光映画祭・街道まつり 山田洋次、高島勲、佐藤純彌、大林宣彦 監督来町
- 平成8年度：映画「虹をつかむ男」ロケ
- 平成10年度：旧永井家庄屋敷（町指定文化財）修復工事完了
貞光町並み保存条例制定（H18現在18棟修景工事完了）
- 平成11年度：NHK「天涯の花」ロケ
- 平成12年度：街なみ環境整備事業認定
貞光住宅マスタープラン策定
- 平成13年度：町並み交流館オープン
貞光商店街空き家対策補助金交付要綱制定
- 平成14年度：公営住宅「明治橋団地」完成
貞光うだつの土曜祭スタート
（毎月第1土曜日開催、H20年7月末現在73回開催済み）
- 平成17年度：織本屋（国登録文化財）再生工事完了
TV「水戸黄門」ロケ
- 平成19年度：第22回国民文化祭
- 平成20年度：TV「遠くへ行きたい」ロケ

【作品または活動の特色】

町並みは、藩政時代に貞光代官所が置かれ阿波領内

有数の郷町として栄え、現在の町並み区画の原型（間口5間、奥行き21間）が、この時代に形成されたと言われている。また、明治30年に貞光葉煙草専売所が設置され、葉煙草専売社を中心として大勢の人が集まり、それに伴い商店・旅館・郵便局等も建ち並び、年中買物客で大いに賑わい、この時代より商家には「うだつ」が上がるようになってきた。

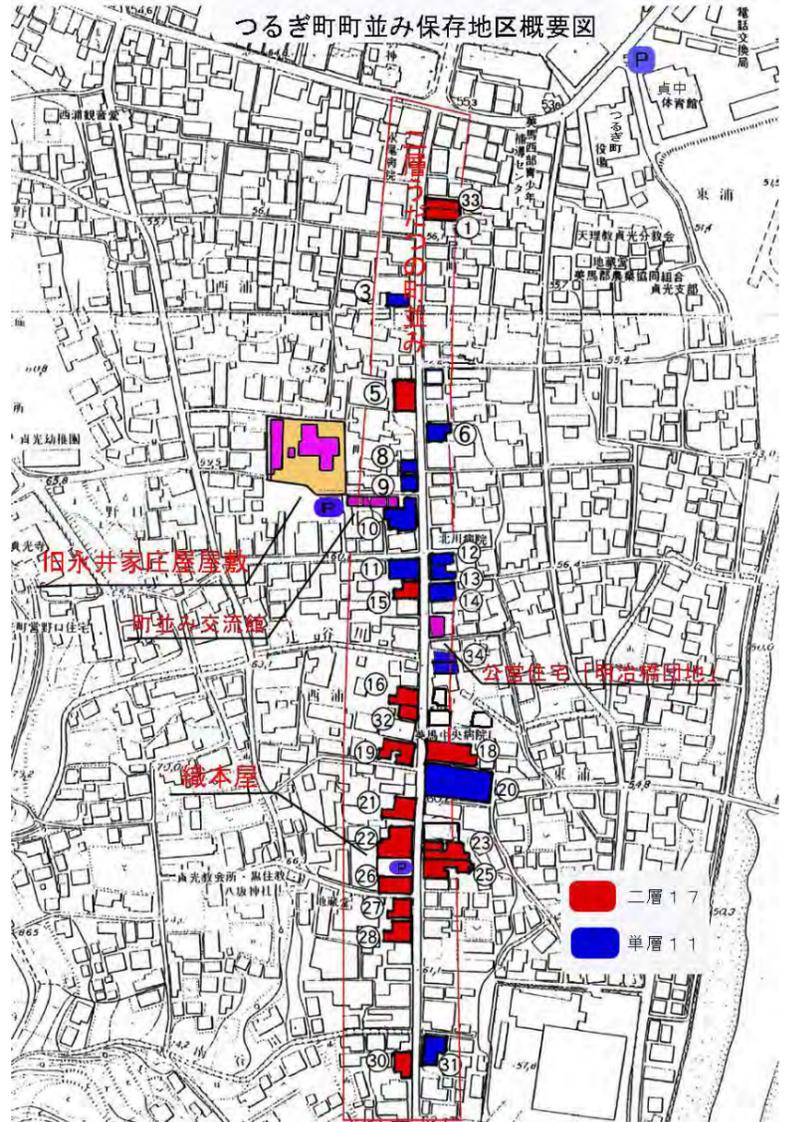
建物の両袖に位置するうだつは、本来は、防火、防犯という役目で設置されたが、当時の裕福な家は競ってこの「うだつ」を上げた立派な家を造ったと言われている。「うだつが上がらない」という言葉は、転じて「いつまでもぐずぐずして成長・発展がない」という意味で使われるようになった。

本町のうだつは大きく分けて6種類のうだつが有り、特に二層のうだつは全国的にも非常に珍しいものである。また、うだつの正面には家ごとに異なる漆喰細工の鍍絵とよばれる美しい絵模様が施され美術建築としての風格も備えている。

町並み修景設計は古民家再生の専門家に依頼し、建物の時代背景等を考慮し適正な町並み保存に努めている。

この二層うだつの町並みの中には町所有文化財の「旧永井家庄屋敷敷」、「織本屋」があり施設の保存だけでなく幅広く活用することにより地域交流のコア施設としての役割を担っている。

また、町並み修景事業を推進するなかで「うだつの土曜祭実行委員会」等の地域おこしグループが自発的に生まれてきて、この町並みを活用した各種地域おこしイベントの開催等により地域活性化に大きく貢献している。



町並み修景事業
国指定登録文化財「織本屋」修景工事前



町並み修景事業
国指定登録文化財「織本屋」修景工事中
まだ使用できる柱等の材料は、極力生かして使用する。可能な限り、本来の住宅の姿に戻すように工事を行っている。



町並み修景事業
国指定登録文化財「織本屋」修景工事後



織本屋企画展（H20年4月実施）
つるぎ町に関係ある「土釜・鳴滝土々呂の滝」歴史資料展開催



国指定文化財「織本屋」
うだつの土曜祭実行委員会による6周年記念イベント（H20年7月実施）※毎月第1土曜日開催



町並みにある小路と鍍絵



二層うだつの町並み風景



国民文化祭（H19年10月実施）
「つるぎの達人」ボランティアガイドによる二層うだつの町並み散策



二層うだつの町並みでの秋祭り風景（H19年11月実施）



町並みでの阿波踊り大会（H20年8月実施）



旧永井家庄屋敷敷のイベント（H19年9月実施）
貞光商工会女性部による月花遊々（室内）風景



旧永井家庄屋敷敷のイベント（H20年4月実施）
貞光商工会女性部による月花遊々風景
写真左が室内、写真右が室外

